

## 型の判定(1時点での高血糖の存在確認)

① 早朝空腹時血糖値*1	126mg/dL以上
② 75gOGTTで2時間値	200mg/dL以上
③ 随時血糖値	200mg/dL以上
④ HbA1c	6.5%以上

①～④のいずれかが確認された場合は「**糖尿病型**」と判定する。  
血糖値とHbA1cを同時測定し、ともに糖尿病型であることが確認されれば、初回検査のみで糖尿病と診断できる。

⑤ 早朝空腹時血糖値	110mg/dL未満
⑥ 75gOGTTで2時間値	140mg/dL未満

⑤および⑥の血糖値が確認された場合には「**正常型**」と判定する。

● 上記の「糖尿病型」「正常型」いずれにも属さない場合は「**境界型**」とする。

### 空腹時血糖値および75gOGTTによる判定区分と判定基準

	血糖測定			判定区分
	空腹時	時間	負荷後2時間	
血糖値 (静脈血漿値)*1	126mg/dL以上	または	200mg/dL以上	糖尿病型
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの			境界型
	110mg/dL未満	および	140mg/dL未満	正常型*2

\*1 血糖値は、特に記載のない場合には静脈血糖値を示す。

\*2 正常型であっても1時間値が180mg/dL以上の場合は180mg/dL未満のものに比べて糖尿病に悪化する危険が高いため、境界型に準じた取り扱い(経過観察など)が必要である。また、空腹時血糖値が100～109mg/dLは正常域ではあるが、「正常高値」とする。この集団は糖尿病への移行やOGTT時の耐糖能障害の程度からみて多様な集団であるため、OGTTを行うことが勧められる。

日本糖尿病学会編・著『糖尿病治療ガイド2018-2019※』P.21より改変 ※発行元 文光堂(2018年発行)